第1章 はじめに

1-1 策定の背景

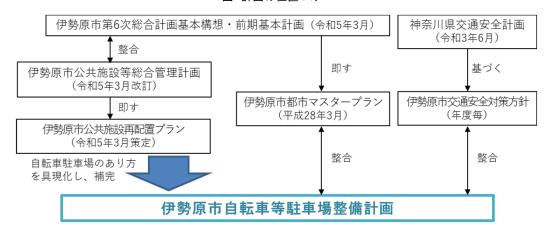
- ・自転車は、手軽で便利かつ環境に優しい移動手段
- ・一方で、駅周辺の放置自転車は、歩行者等の通行を妨げる等の問題
- ・本市では、昭和50年代から市営自転車駐車場を整備するとともに、 平成2年12月に「伊勢原市自転車等の放置防止に関する条例」を施行し、 自転車等放置禁止区域の指定や自転車等駐車場を運営



・将来にわたって快適で安全な自転車利用環境を形成していくため、 本市の市街地整備の状況や、利用実態の把握、駐車需給の将来予測等 の調査を行い、官民の役割分担を踏まえたうえで、自転車等駐車場の 再配置、整備水準等を含む自転車等駐車場整備計画として策定

1-2 計画の位置づけ

図 計画の位置づけ



(参考)伊勢原市公共施設等総合管理計画(令和5年3月)

自転車等駐車場について、鉄道駅への自転車等の乗り入れ台数を精査し、必要台数を分析するとともに、民間との役割を明確にした上で、施設の再配置及び集約化や民間事業者と連携した施設配置について検討する

1-3 計画期間

10年

第2章 自転車利用環境を取り巻く環境変化

2-1 自転車利用者へのヘルメット着用の努力義務化

令和5年4月1日より全ての自転車利用者はヘルメット着用が努力義務化

2-2 良好な自転車交通秩序の実現

警察庁が設置する有識者会議において、自転車に関する交通安全教育や 交通違反の処理方法などが議論されており、今後の法改正も見込まれる (令和6年5月24日付けで道路交通法の一部を改正する法律が公布)

2-3 自転車損害賠償責任保険等の加入義務化

交通ルールを守る主体として、自転車安全利用がより一層求められる

2-4 環境意識の高まり

社会、個人の環境意識の高まりに併せて自転車ニーズが高まる可能性も考えられる

第3章 地域の現状

3-4 (2)大字別の人口

伊勢原駅及び愛甲石田駅を 中心に人口密度が高く、郊 外部を中心に高齢化率が高 い

3-5 (2)伊勢原駅北口市街地再開発 事業(予定)

• 再開発事業などの市街地整備の 取組が検討されている区域では、 複数の自転車等駐車場(市営・民 営)が事業進捗に伴って廃止の見 込み

図 伊勢原駅北口周辺地区



⇒このほか、人口や市街地の概況など、基礎的な都市情報を整理

第4章 自転車等駐車場の設置等の状況

4-1自転車等駐車場と放置禁止区域

図 自転車等駐車場及び放置禁止区域(伊勢原駅周辺)

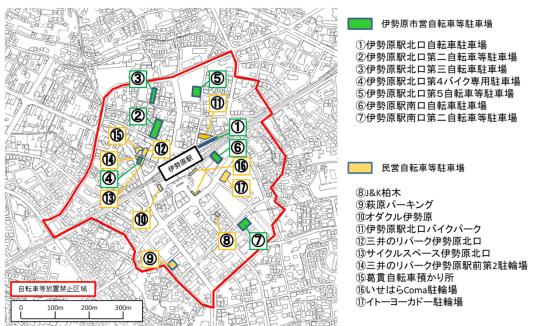
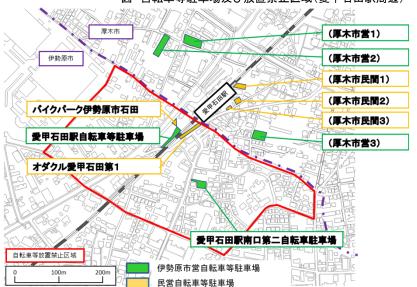


図 自転車等駐車場及び放置禁止区域(愛甲石田駅周辺)



4-2(1)定期利用率

- 市営自転車等駐車場の定期利用率は、 令和元年度から令和3年度に、99.5%→91.5%と、約8%減少
- 令和5年度現在では、96.5%と、約5%回復

図 定期利用率の推移

駅	箇所	種類	R1	R2	R3	R4	R5
伊勢原駅	伊勢原駅北口自転車駐車場	自転車	99.8%	97.8%	94.5%	96.6%	99.2%
	(P. ** C. *	自転車	99.9%	99.6%	99.8%	99.7%	99.8%
	伊勢原駅北口第2自転車等駐車場	バイク	99.9%	99.7%	99.9%	98.9%	100.0%
	伊勢原駅北口第3自転車駐車場	自転車	99.0%	90.4%	83.3%	86.2%	84.8%
	伊勢原駅北口第4バイク専用駐車場	バイク	99.6%	100.0%	98.6%	99.0%	98.1%
	伊勢原駅北口第5自転車等駐車場	自転車	98.6%	84.7%	64.3%	70.7%	89.6%
		バイク	99.6%	97.5%	96.1%	94.9%	98.7%
	伊勢原駅南口自転車駐車場	自転車	99.8%	97.8%	97.9%	98.5%	98.7%
	(P. *** *	自転車	99.6%	83.9%	71.2%	85.1%	96.8%
	伊勢原駅南口第2自転車等駐車場	バイク	99.9%	93.6%	96.6%	99.1%	96.8%
愛甲石田駅	5田駅 愛甲石田駅自転車等駐車場	自転車	99.8%	90.2%	97.4%	98.3%	99.7%
		バイク	99.9%	89.0%	84.6%	90.6%	98.2%
	愛甲石田駅南口第2自転車等駐車場	自転車	97.2%	94.0%	93.5%	96.6%	96.2%
	全平均		99.5%	93.8%	91.5%	94.2%	96.5%

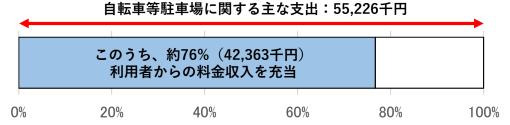
※定期利用率は、契約者数を収容可能台数で除した数値です。 ※令和5(2023)年度は、4~12月のデータで算出しています。

約8%減少約5%回復

4-2(3)収入と支出(※令和4年度)

- 自転車等駐車場の主な支出は年間で約5,500万円に対し、利用料金による収入は約4,200万円と約76%を占める。
- 支出のうち、約93%が指定管理者への委託料となっている。

グラフ 支出に対する収入の割合



⇒このほか、市営、民営の駐輪場の収容可能台数や料金などを整理

第5章 駐車実態の把握

5-1 駐車に関する実態調査

- 対象は市営・民営の駐輪場
- 調査日は10/14(土),16(月)とし、各日の午前・午後・夜の3時間帯を調査
- ピーク時の駐車台数は、収容可能台数の概ね6割となった

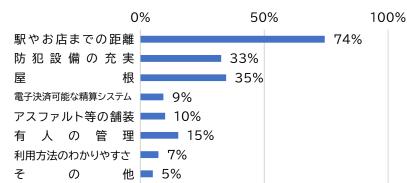
グラフ 鉄道駅周辺のピーク時駐車台数



5-2 利用者アンケート調査

- 駐輪場を利用する際に重視する項目として、「駅やお店までの距離 (74%)」「屋根(35%)」「防犯設備の充実(33%)」が多い
- 自由意見では、駐輪マナーの悪さや1台当たりのスペースが狭く停めにくい、電子決済を導入してほしいといった意見が目立った

グラフ「駐輪場の選択に重要な設備・サービス」(2個まで回答可)



⇒このほか、発生地調査を行い、駐輪実態やニーズを把握

第6章 駐車需要の将来推計

6-2 整備目標台数の算出

- 前章の結果などに基づき、利用目的や将来の人口推計などを踏まえながら、10年後の整備目標台数を算出
- 将来人口推計の他、新型コロナウイルス感染拡大時と比べて利用者が 回復傾向にあることや定期契約者と駐車実態との乖離も考慮

図 自転車等駐車場の整備目標台数の算出フロー

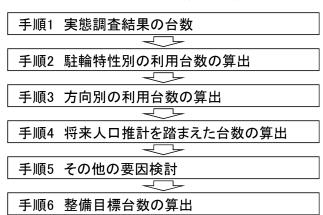


表 現在の収容可能台数と将来整備目標台数(10年後)

■収容可能台数(現在)

	伊勢原駅			
	北口	南口	合計	
自転車	1,562台	1,095台	2,657台	
バイク	450台	542台	992台	
合計	2,012台	1,637台	3,649台	

愛甲石田駅				
北口	南口	合計		
904台	1,074台	1,978台		
285台	197台	482台		
1,189台	1,271台	2,460台		



■整備目標台数(10年後)

	伊勢原駅			
	北口	南口	合計	
自転車	1,030台	710台	1,740台	
バイク	180台	380台	560台	
合計	1,210台	1,090台	2,300台	

愛甲石田駅				
北口	南口	合計		
730台	490台	1,220台		
190台	90台	280台		
920台	580台	1,500台		

第7章 自転車等駐車場の再整備

7-1 整備に向けた課題と基本的な考え方

<課題1>人口減少下における必要な台数の確保

<基本的な考え方1>

将来の需要を見通した上での計画的な市営自転車等駐車場の整備 将来整備目標や関連事業のスケジュールを踏まえ、計画的な 整備を図る。

<課題2>管理運営の効率化

<基本的な考え方2>

有人管理のメリットを生かした効率的な管理運営への転換

きめ細かく現場を確認できる有人管理のメリットを生かせるよう、システムにできることはシステムに任せるような運営に転換し、利用者利便性の向上を図る。

<課題3>多様化する利用者のニーズへの対応

<基本的な考え方3>

利用者ニーズを踏まえた市営自転車等駐車場の整備

舗装や屋根、防犯設備の設置など、利用者ニーズを踏まえた 施設改修を図る。

<課題4>官民協働による駐車施設整備

<基本的な考え方4>

民間事業者が参入・運営しやすくなる環境整備

市が主体となって整備をすることを基本としつつ、民間事業者が参入・運営しやすくなるような環境整備を図る。

7-2 鉄道駅毎の整備方針

伊勢原駅北口

- 北口市街地再開発事業(予定)の進捗に伴って複数の駐輪場の廃止が見 込まれていることから、既存の駐車場(北2または北5)のバイク用 の駐車スペースを自転車の駐車スペースに転換する。
- 民間駐輪場事業者が参入・運営しやすくなるよう、市営駐輪場の利用 料金の見直しを検討するとともに、一定の施設整備を実施する。

伊勢原駅南口

- 伊勢原駅南口自転車駐車場については、**大規模修繕工事の実施による** 施設の長寿命化を図る
- 設計と施工を一体的に発注するなど民間活力を活用し、**早期の工事着 手**を図る。
- 民間駐輪場事業者が参入・運営しやすくなるよう、市営駐輪場の利用 料金の見直しを検討するとともに、一定の施設整備を実施する。

愛甲石田駅(北口・南口)

- 南口の市営駐輪場については、整備目標台数と市営、民営の自転車等駐車場の利用状況などを踏まえながら、当面は機能を継続する。
- 民間駐輪場事業者が参入・運営しやすくなるよう、市営駐輪場の利用 料金の見直しを検討するとともに、一定の施設整備を実施する。

7-3 整備水準

• 区画、舗装、屋根、防犯カメラ、LED照明などの導入の検討

7-4 管理運営の効率化

• 入退場ゲートや電磁ロック、WEB申込みや電子決済などの導入の検討